

## 環境モデル都市に関する取組について

平成 20 年 1 1 月 7 日  
内閣官房地域活性化統合事務局

今後我が国が目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すため、温室効果ガスの大幅削減など高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を「環境モデル都市」として選定し、関係省庁が連携してその実現を支援することとしています（7月に6都市を選定）。

この「環境モデル都市」の取組の普及・拡大を図るため、国内外の有識者等の参加を得て、国際セミナー等を開催するとともに、低炭素都市推進協議会（仮称）を設立します。

I 環境モデル都市に関する国際セミナー等の開催について（詳細は別紙1のとおり）  
国内外の有識者等の参加を得て、国際セミナー等を開催します。  
（平成20年12月14日（日） 於：北九州国際会議場）

II 低炭素都市推進協議会（仮称）の設立について（詳細は別紙2のとおり）  
低炭素社会づくりに向けて行動する都市・地域とそれを支援する関係行政機関等の参加による「低炭素都市推進協議会（仮称）」の設立総会を開催します。  
（平成20年12月14日（日） 於：北九州国際会議場）

### 【本件連絡先】

内閣官房 地域活性化統合事務局

電話：03-5510-2175（北島）

：03-5510-2207（浜島）

（千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎7階）

## 環境モデル都市に関する国際セミナー等の開催について

我が国全体を挙げて推進する「環境モデル都市」の取組の普及・拡大を図るため、国内外の有識者等の参加を得て、国際セミナー等を下記のとおり開催します。

- |   |
|---|
| <p>○日 時：<u>平成20年12月14日（日）</u>（午後開催予定）</p> <p>○場 所：北九州国際会議場（北九州市）</p> <p>○内 容：基調講演（村上周三 慶應義塾大学教授）<br/>環境モデル都市及び海外の環境都市からのプレゼンテーション<br/>取組の拡充・普及拡大等をテーマとしたパネルディスカッション<br/>等</p> <p>終了後、市民交流会の開催を予定しています。</p> <p>◆環境モデル都市 ※（6都市）からの参加者<br/>北九州市、横浜市、富山市、帯広市、下川町、水俣市の各首長（予定）</p> <p>◆海外の環境都市（3都市）からの参加者<br/>フライブルグ市（ドイツ）、マルメ市（スウェーデン）、<br/>ポートランド市（米国）の行政関係者等有識者</p> <p>○ また、セミナーにおいて環境モデル都市の取組に対する有益なアドバイスを国内外の有識者から得るため、環境モデル都市6都市へのエコツアーを事前に開催することとしています（12月12日（金）～13日（土））。同ツアーには国内外の有識者が参加し、各都市の取組に関連する視察、現地関係者との意見交換等が行われます。</p> |
|---|

### ※ 環境モデル都市

我が国全体を低炭素社会に転換していくため、政府として、温室効果ガスの大幅削減など高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を「環境モデル都市」として選定し、その実現に向けて重点的に支援することとしている。平成20年7月に、全国の都市からの82件（89団体）の提案の中から、「環境モデル都市」6都市と、「環境モデル候補都市」7都市を選定。

詳細については、地域活性化統合本部会合のホームページ

（<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/>）の「環境モデル都市」の選定結果について」をご参照ください。

## 低炭素都市推進協議会（仮称）の設立について

低炭素型の都市・地域づくりに向けて、環境モデル都市<sup>※1</sup>の優れた取組の全国展開を図るとともに、低炭素社会づくりに積極的に取組む海外の都市と連携し、我が国の優れた取組を世界に発信することを目的として、低炭素社会づくりに向けて行動する都市・地域とそれを支援する関係行政機関等の参加による「低炭素都市推進協議会（仮称）」を設立します。このため、今後、協議会に参加する市町村等の募集を行います。

### ～低炭素都市推進協議会（仮称）～

#### 《構成員》

協議会の構成員については、以下の関係市町村・関係行政機関等であり、今後、参加の募集を実施します。

- 低炭素社会づくりに向けて行動する都市・地域
  - ・ 環境モデル都市、環境モデル候補都市<sup>※1</sup>、その他低炭素型都市・地域づくりに向けたアクションプラン<sup>※2</sup>を策定する意思のある市町村
- 支援する関係行政機関
  - ・ 関係省庁、関係政府機関、都道府県

#### 《主な業務》

協議会の主な業務については、以下のとおりです。

- 環境モデル都市の取組の全国への展開・波及
  - － 構成員市町村のアクションプランの策定支援
  - － 優れた取組に対する表彰・賞の授与
  - － 環境モデル都市の取組の評価 など
- 先導的取組・学術研究等の情報共有及び相互啓発
- 都市と地方の連携強化など広域的取組や複合的取組の企画・推進
- 我が国の優れた取組の世界に向けた情報発信や国際連携促進 など

### ～設立総会～

協議会の設立総会については、以下の日程で開催します。

- 日時：平成20年12月14日（日）（午前開催予定）
- 場所：北九州国際会議場（北九州市）

#### ※1 環境モデル都市・環境モデル候補都市

我が国全体を低炭素社会に転換していくため、政府として、温室効果ガスの大幅削減など高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を「環境モデル都市」として選定し、その実現に向けて重点的に支援することとしている。平成20年7月に、全国の都市からの82件（89団体）の提案の中から、「環境モデル都市」6都市と、「環境モデル候補都市」7都市を選定。

#### ※2 アクションプラン

温室効果ガスの大幅削減に向けて行動する都市等が策定する以下の内容を含む具体的実施計画

- 1) 2050年前後までの長期の温室効果ガスの削減目標とその中間的な目標としての中期（2020年～2030年前後までの期間）の温室効果ガスの削減目標とその達成に向けた取組方針
- 2) 21年度以降25年度末までの5年以内に具体化する予定の取組内容

# 「環境モデル都市」の推進による地域の元気の回復について

## 目的

- 我が国を低炭素社会に転換していくためには、ライフスタイル、都市や交通のあり方など**社会の仕組みを根本から変えることが必要**。
- 今後目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すため、国は、温室効果ガスの大幅削減など**高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市**を「環境モデル都市」として選定し、その実現を支援。
- 市民や地元企業の参加など**地域一丸となった底力の発揮により低炭素型の地域モデルを実現**し、地球環境負荷の低減と地域の持続的発展を同時に実現し、**地域の元気を回復**。

## 選定経緯

- 平成20年4月11日から5月21日まで募集したところ、多様な都市・地域から82件（89団体）の応募あり。

➡ **環境モデル都市として6都市、環境モデル候補都市として7都市を選定公表（平成20年7月22日）**

大都市	横浜市、北九州市	大都市	京都市、堺市	東京特別区	千代田区
地方中心都市	帯広市、富山市	地方中心都市	飯田市、豊田市		
小規模市町村	下川町、水俣市	小規模市町村	橿原町、宮古島市		

いくつかの基準で課題が残るものの、今後、実施計画（アクションプラン）策定過程で解決し、基準を満たし得る都市

## 「環境モデル都市」のイメージ

- ・コンパクトシティの実現（歩いて暮らせるまちづくり）
- ・交通体系の整備（LRTなど公共交通の活用、電気自動車の普及）
- ・居住スタイルの変革（200年住宅、省エネ住宅、燃料電池の普及）
- ・再生可能エネルギーの普及（太陽光発電、風力発電、バイオマス等の普及）
- ・未利用エネルギー活用（下水道・ゴミ・工場排熱等の活用）
- ・森林の保全と活用（森林資源や緑地をオフセット対策に活用、地産地消）など

都市内で総合的に実現

- ・**都市・地域の特性を活かして**具体的な低炭素都市の姿を提示。
- ・地方公共団体が中心となって、産学民を巻き込み、ライフスタイルやビジネススタイルの転換など社会変革に向けたうねりを起こし、**地域の活力を創出**。

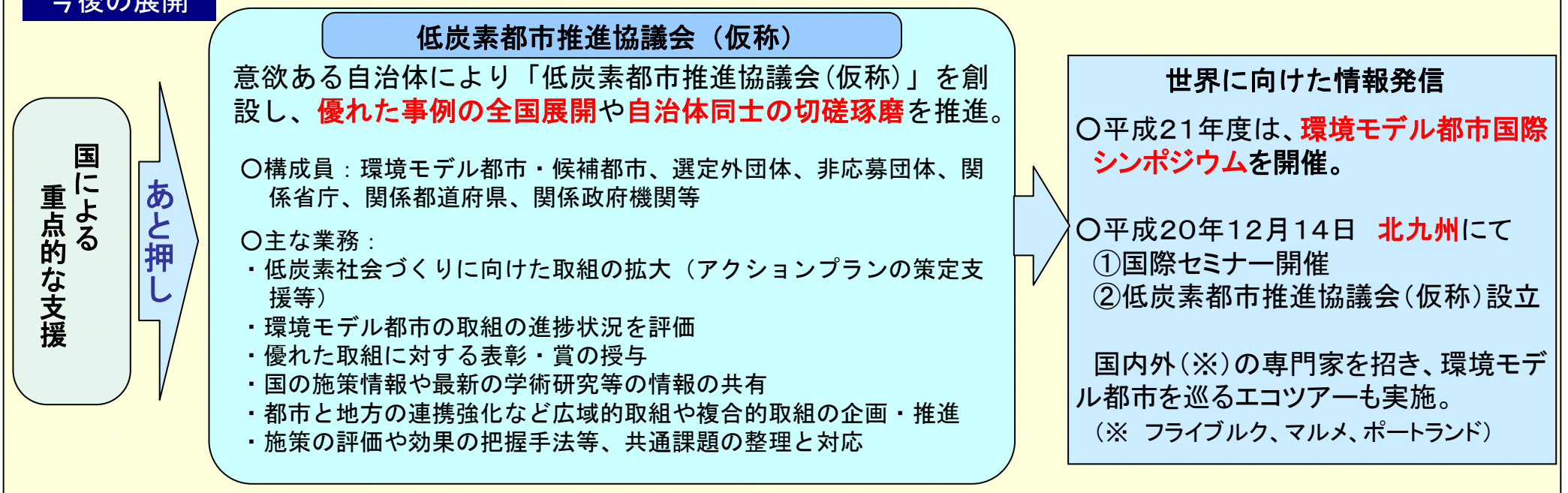


# 低炭素都市推進協議会（仮称）による取組の裾野の拡大

## 課題

- 低炭素都市推進協議会（仮称）を創設**（12月14日国際セミナーに合わせて発足予定）し、
- 「環境モデル都市」を先頭に、**低炭素型の地域づくりの取組の裾野を拡大**。
  - **ベストプラクティス（優秀事例）となる取組を各地で展開**。さらに**世界に向けて情報発信**。

## 今後の展開



上記協議会の活動を通じて、各都市の取組内容を高度化

「環境モデル都市」のさらなる創出

低炭素都市間の交流・連携による切磋琢磨

**地域の活力の創出**